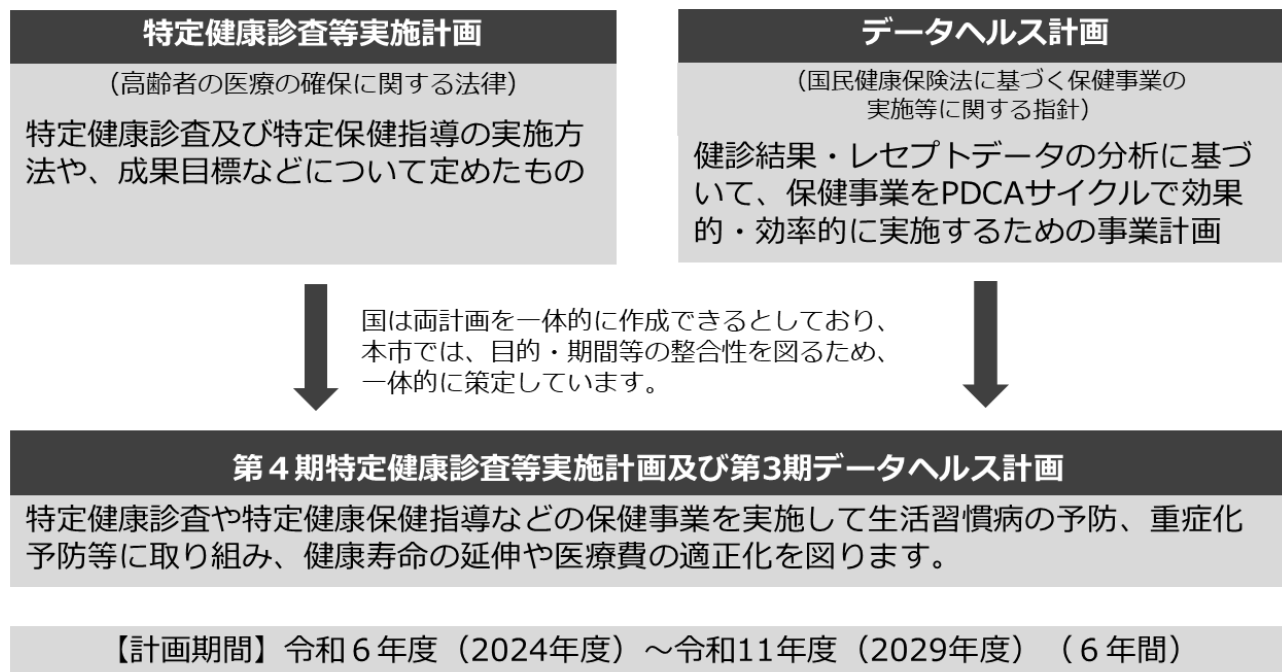


吹田市国民健康保険第4期特定健康診査等実施計画及び第3期データヘルス計画の策定について

1 計画の概要



2 今後のスケジュール（予定）

日付	予定
令和5年10月	データ分析・課題抽出
10月	国民健康保険運営協議会(計画の概要、策定スケジュールの報告)
11月	目標設定・取組事業等の検討
12月	計画素案の策定
令和6年1月 or 2月	国民健康保険運営協議会(計画素案について意見聴取)
2月	保健事業支援・評価委員会(国保連)へ提出
3月	計画策定(市ホームページで公表)

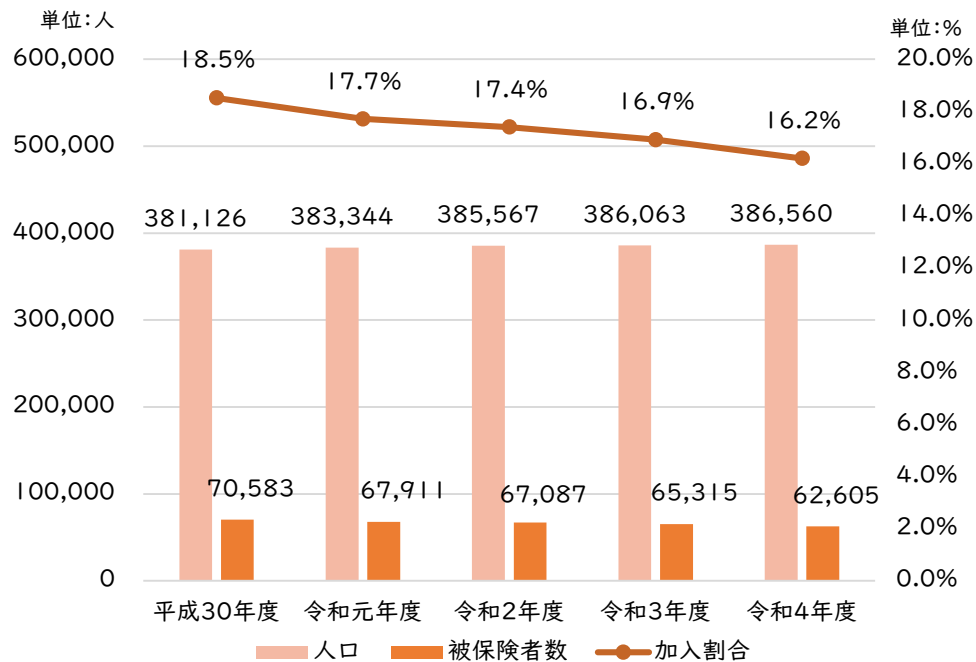
3 データ分析の状況

別紙1のとおり

1. 吹田市の保険者の特性～

人口、被保険者数、加入割合

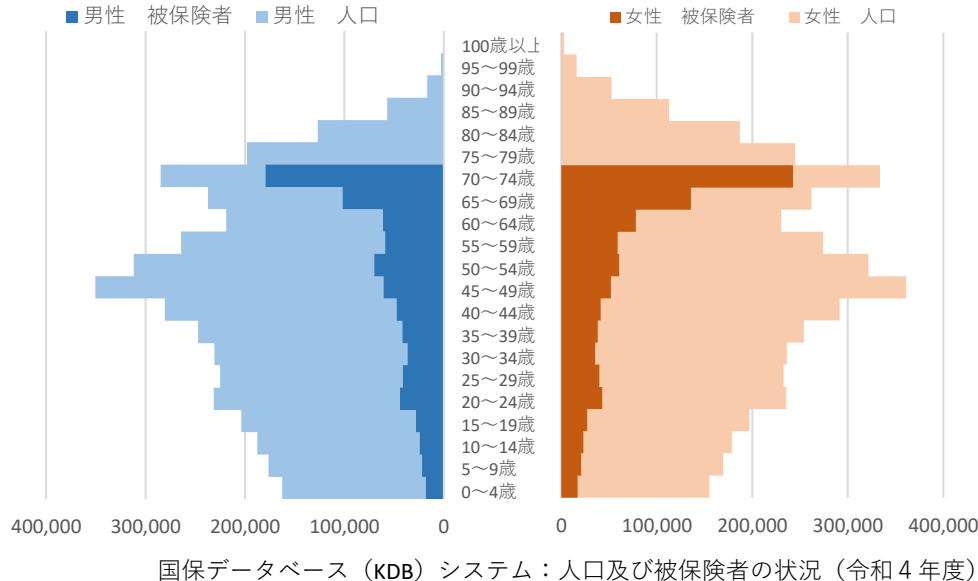
図1



地域包括ケア「見える化」システム (令和5年6月取得)

令和4年度 性・年代階層別被保険者構成

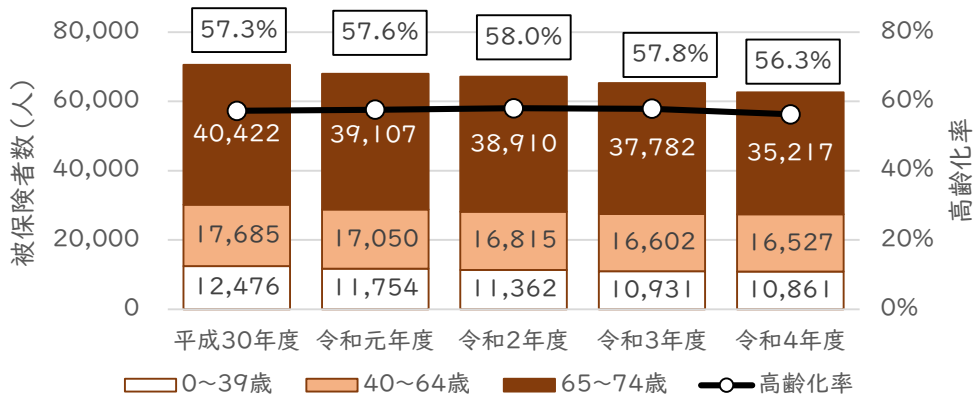
図3



国保データベース (KDB) システム：人口及び被保険者の状況 (令和4年度)

年齢階級別の国保被保険者分布および高齢者割合の推移

図2



国保データベース (KDB) システム：人口及び被保険者の状況

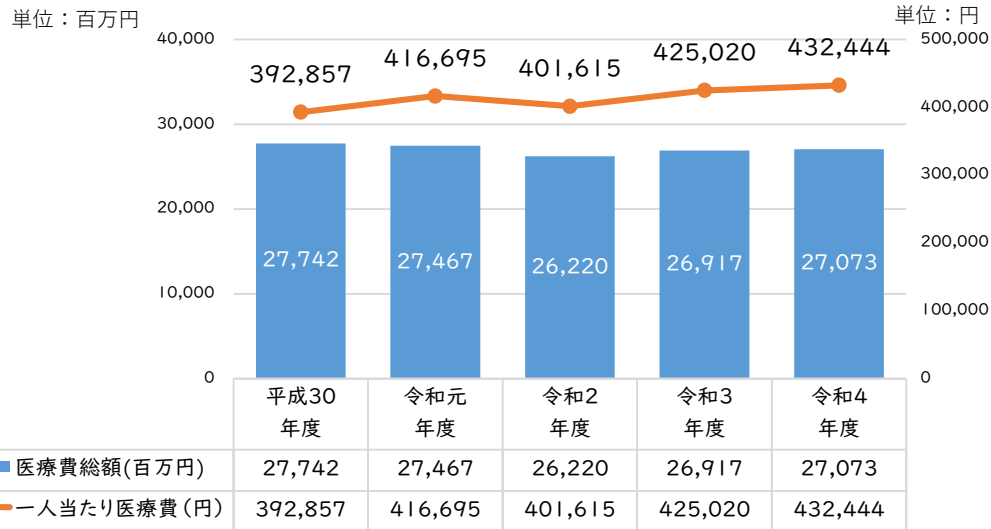
- 吹田市の人口は微増しているが、国保被保険者数は減少している。
- 被保険者の約6割が65歳以上だが、令和2年度以降、高齢者の割合が減少に転じている。



2. 国民健康保険被保険者の医療費状況

医療費の総額及び1人当たりの医療費の分析

図4

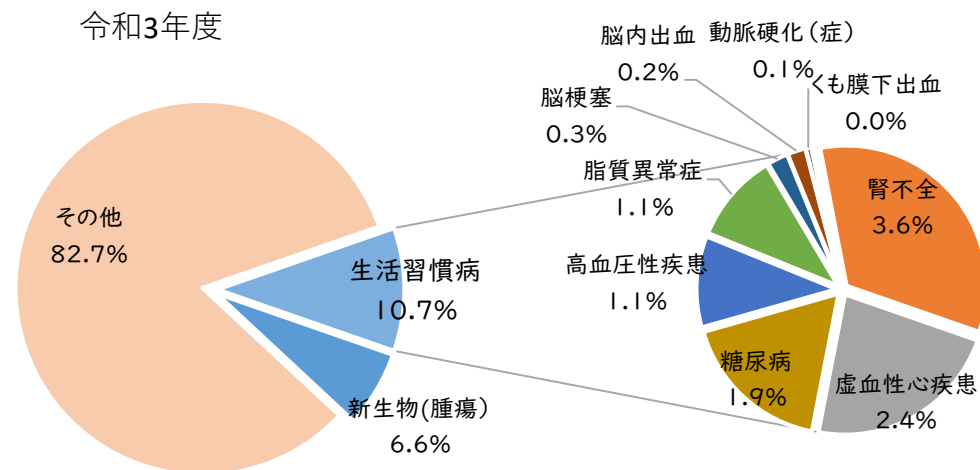


年間医療費の総額は横ばいだが、一人当たりの医療費が微増している。一人当たりの医療費について、吹田市は、「外来」「調剤」が全国・大阪府より高い。

3. 生活習慣病に関する医療費状況 (1)

総医療費に占める生活習慣病の割合

図5

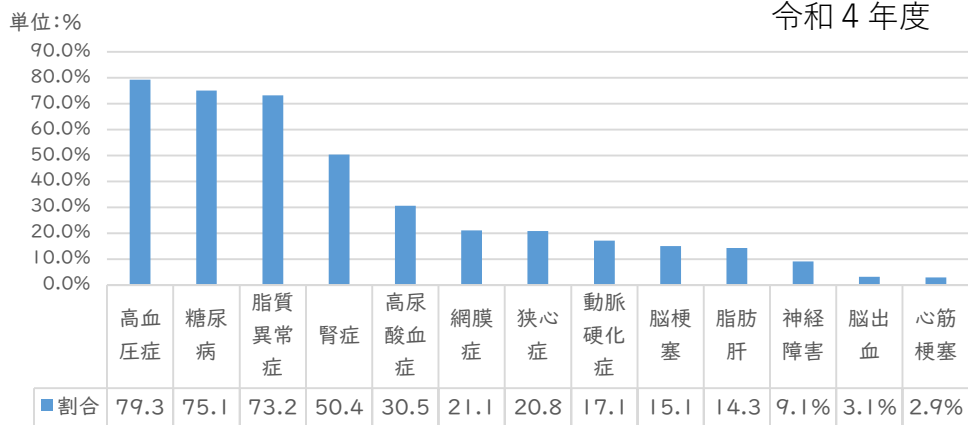


総医療費10.7%を生活習慣病が占めている。内訳は第1位が「腎不全」、次いで「虚血性心疾患」「糖尿病」「高血圧性疾患」。

4. 生活習慣病に関する医療費状況 (2)

慢性腎臓病患者の有病状況

図6



慢性腎臓病患者のステージ状況

表1

令和4年度

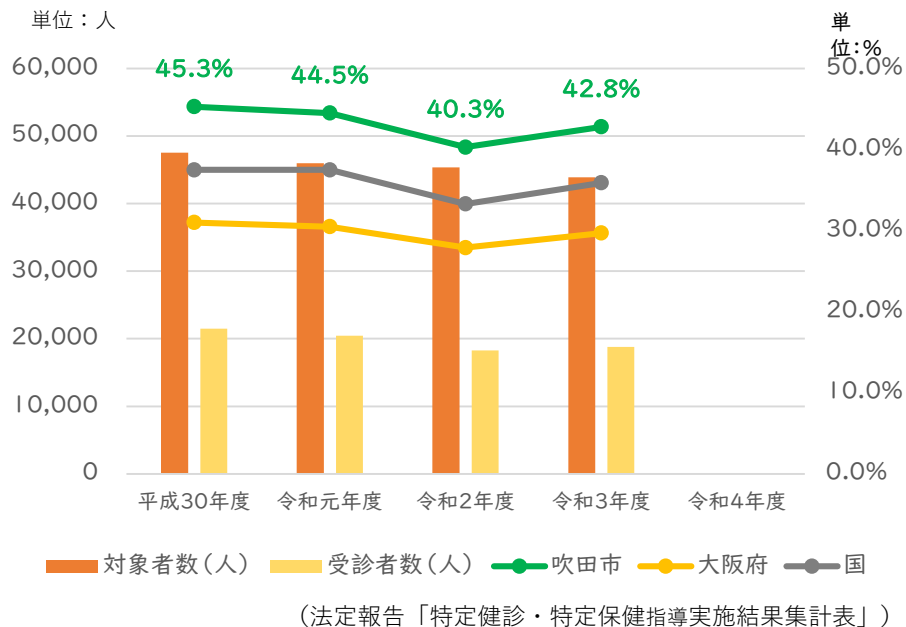
GFR区分 (mL/分/1.73m ²)	ステージ	基準値	人数(人)	割合(%)
	G1	正常または高値		
G2	正常または軽度低下	60~89	220	33.60%
	軽度~中等度低下	45~59	228	34.80%
G3a	中等度~高度低下	30~44	107	16.30%
	高度低下	15~29	32	4.90%
G4	末期腎不全(ESKD)	<15	13	2.00%

慢性腎臓病患者の有病状況は、「高血圧症」「糖尿病」「脂質異常症」の順に高い。重症度別にみると、軽度から中等度低下を示す「G3a」が最も高く、正常または軽度低下を示す「G2」が30%台と高い状況。

4. 特定健康診査の状況

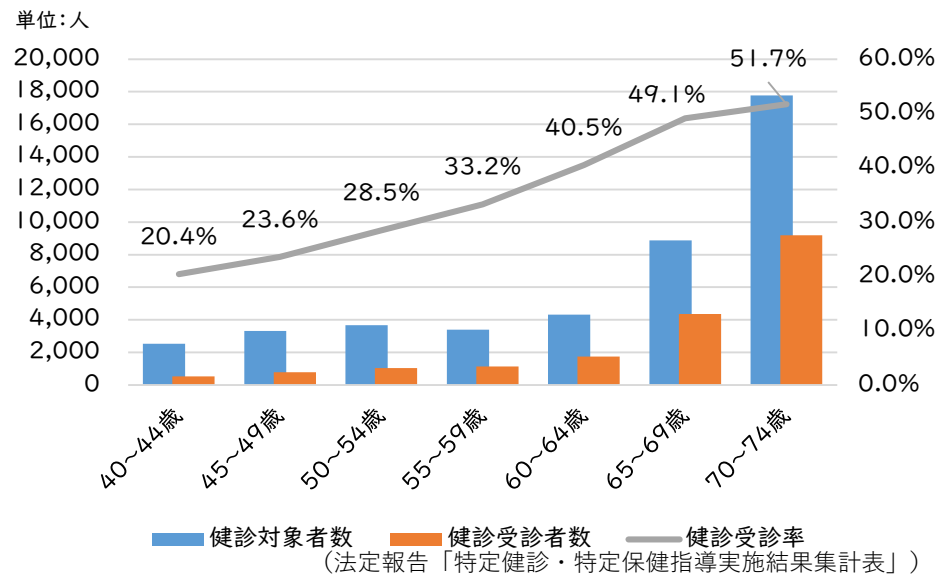
特定健診の実施状況

図 7



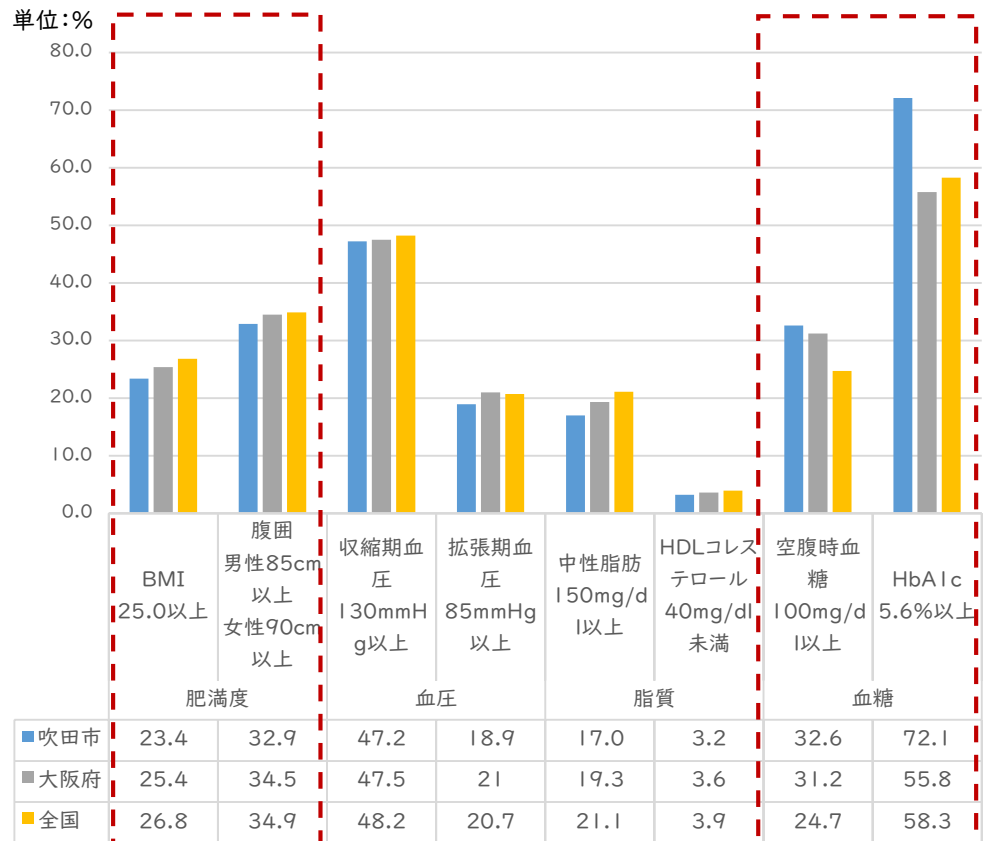
年代別特定健診実施状況(令和3年度)

図 8



検査項目別の受診結果(令和4年度)

図 9



(国保データベース (KDB) システム「健診有所見者状況 (男女別・年代別)」)

特定健診実施率は微減傾向だが、大阪府・全国比較では高い推移を続けている。

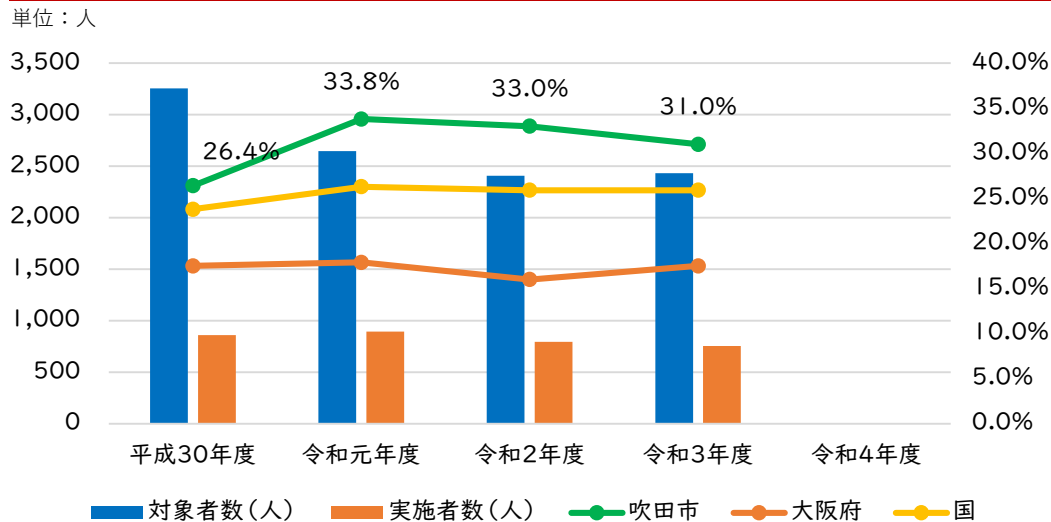
年代別では、高齢者受診率が高い。メタボリックシンドロームの該当者・予備群はほぼ横ばいが続いている。

検査項目の結果をみると、肥満度の判定基準である「BMI」「腹囲」に該当する人は少ない一方で、血糖の判定基準である「空腹時血糖100mg/dl以上」「HbA1c5.6%以上」に該当する人が多くなっている。

5. 特定保健指導の状況

特定保健指導の実施状況の推移

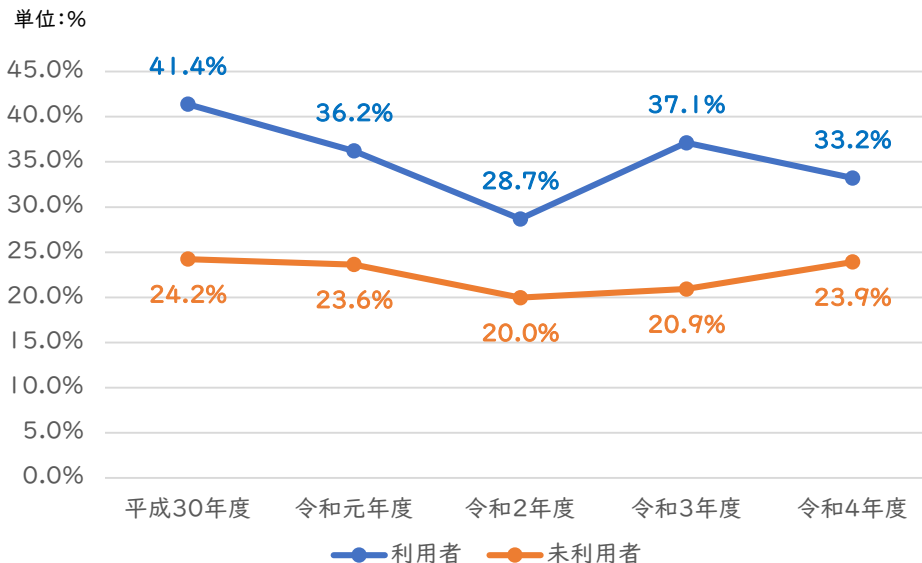
図10



(法定報告「特定健診・特定保健指導実施結果集計表」)

メタボ該当者の減少率(予備群・非該当への遷移率)の推移

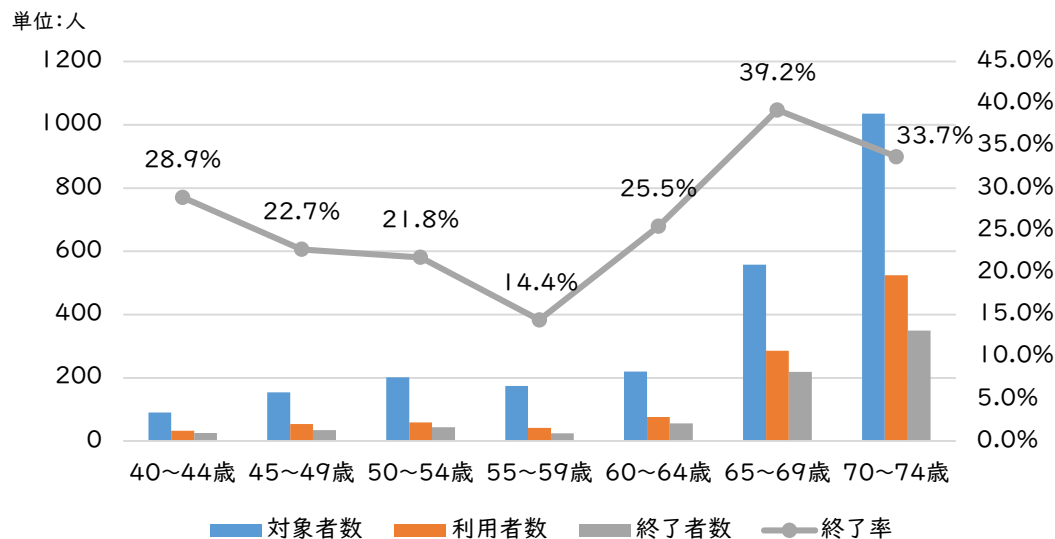
図12



特定健診等データ管理システム：特定健診結果等情報作成抽出
特定保健指導利用者(法定報告用)

年代別特定保健指導状況(令和3年度)

図11



(法定報告「特定健診・特定保健指導実施結果集計表」)

特定保健指導の実施率は、大阪府・全国比較で高い推移。
年代別では65-74歳の実施率が高い。

特定保健指導の利用有無による、メタボ該当者・予備群の減少率は、利用者の方が未利用者より減少率が高くなっており、特定保健指導の利用がメタボ該当者・予備群の減少に繋がられていると推測できる。



吹田市では生活に取り込む8つのライフスタイルを設定し、健康寿命の延伸に向けた取り組みを進めています。